

議案第228号

一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正
する条例案

第1条 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成17年大阪市条例第18号）の一部を次のように改正する。

第7条第1項の表を次のように改める。

号給	給料月額
1	330,500円
2	373,600円
3	416,200円
4	472,300円
5	548,900円
6	641,500円
7	749,700円

第9条第3項中「100分の137.5」とあるのは「100分の157.5」を「100分の137.5」とあるのは「100分の167.5」に改める。

第2条 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を次のように改正する。

第9条第3項中「100分の157.5」及び「100分の167.5」を「100分の162.5」に改める。

附 則

(施行期日等)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正後の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（以下「改正後の条例」という。）第7条の規定は、平成28年4月1日から適用する。

(給与の内払)

- 3 第1条の規定による改正前の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の規定に基づいて平成28年4月1日からこの条例の施行の日の前日までの間に職員に支払われた給与は、改正後の条例の規定による給与の内払とみなす。

(施行の細目)

- 4 この附則に定めるもののほか、この条例の施行に伴う清算その他必要な事項は、市長が定める。

平成28年11月29日提出

大阪市長 吉 村 洋 文

説 明

特定任期付職員の給料月額を改定するとともに、特定任期付職員の期末手当の支給割合を改めるため、条例の一部を改正する必要があるため、この案を提出する次第である。

(参 照)

{ 傍線は削除
太字は改正

一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（抄）

（第 1 条による改正関係）

（特定任期付職員の給与の特例）

第 7 条 第 2 条第 1 項の規定により任期を定めて採用された職員（本市の経営する地方公営企業（以下「地方公営企業」という。）に勤務する者（以下「企業職員」という。）を除く。以下「特定任期付職員」という。）には、次の給料表を適用する。

号給	給料月額
1	<u>330,000円</u> 330,500円
2	<u>373,100円</u> 373,600円
3	<u>415,800円</u> 416,200円
4	<u>471,900円</u> 472,300円
5	<u>548,400円</u> 548,900円
6	<u>641,000円</u> 641,500円
7	<u>749,200円</u> 749,700円

2 - 4 省 略

（職員の給与に関する条例の適用除外等）

第 9 条 省 略

2 省 略

3 特定任期付職員に対する職員の期末手当及び勤勉手当に関する条例第 2 条第 2 項第 1 号及び第 4 項の規定の適用については、同号中「100分の122.5」とあるのは「100分の157.5」と、「100分の137.5」とあるのは「100分の157.5」と、同項中「定める額」とあるのは「定める額（100分の167.5）」とあるのは「100分の167.5」

般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成17年大阪市条例第18号）第7条第1項の給料表の適用を受ける職員にあっては、他の給料表の適用を受ける職員との均衡を考慮して市規則で定める額)」とする。

一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（抄）

（第2条による改正関係）

（職員の給与に関する条例の適用除外等）

第9条 省 略

2 省 略

3 特定任期付職員に対する職員の期末手当及び勤勉手当に関する条例第2条第2項第1号及び第4項の規定の適用については、同号中「100分の122.5」とあるのは「100分の157.5」と、「100
100分の162.5

分の137.5」とあるのは「100分の167.5」と、同項中「定める額」とあるのは「定める額（一
100分の162.5

一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成17年大阪市条例第18号）第7条第1項の給料表の適用を受ける職員にあっては、他の給料表の適用を受ける職員との均衡を考慮して市規則で定める額）」とする。